

For Best Performance

株式ウイークリー

東洋経済

当社は本誌で注目した株式銘柄について売買を行いません。

今週の
イチオシ!



contents

2022 [令和4年]

6/27 [号]

今週の注目6銘柄

九州関連

光技術関連

原発関連

リノベ
不動産

上振れ期待

訳あり低位

過去の注目株＜戦績とポイント＞

米国の景気減速織り込みへ、国内消費関連株は堅調

今週の投資戦略

今週の話題・
スケジュール

株式市況
基本指標

投資クリニック

編集長総括

今週の投資戦略

アメリカ株は底値固めへ、日本株はジリ高継続

24日の東京市場は反発。日経平均株価は前日比320円高の2万6491円、TOPIX(東証株価指数)も同14^{ポイント}高の1866と続伸して取引を終えた。

FRB(アメリカ連邦準備制度理事会)のジェローム・パウエル議長が同国の上下院でインフレ抑制に向け改めて強い姿勢を示したことで、景気減速への懸念が高まった。金利低下は追い風の

はずのハイテク株も一時冴えない動きに。日本株もこの動きを先取る形で、20日には一時は日経平均株価が2万5520円をつけ、ヒヤつとする場面もあったものの、結局のところ週単位で見れば小誌の想定どおり、自律反発して終了している。27日、7月1日の週は、受け渡しを考慮すれば実質的には6月29日から7月相場入りとなる。国内では2月本決算企

業の第1四半期決算が徐々に本格化。7月1日にはニトリホールディングス(9843)が決算発表を予定。急速な円安進行で売り込まれているだけに、決算発表を機に悪材料出尽くし感が広がる可能性がある。

市場では「アメリカの金融引き締めで景気が犠牲になる」との見方から「反発は限定的」との悲観論が根強い。その見方は尊重するとして、同国の企業業績予想が落ち込んだわけではない。一部

の銘柄を除き、同国株は徐々に底値固めへ。同国株が落ち着けば、コロナ禍から周回遅れで回復している日本株は、ジリ高の動きが継続しそうだ。

6月20日号を含めて過去の注目株では急騰銘柄はなかった。今号は引き続き内需銘柄に焦点を当て、旅行回復の恩恵を最も受けそうな地域の代表銘柄を選択。併せて、利益確定売りが出ている防衛関連銘柄の押し目買いなどを狙った。

(編集長 福井 純)

今週の話題

円安定着で、保守的な為替予想企業に注目

アメリカ連邦準備制度理事会（FRB）は6月15日、政策金利を0・75%引き上げた。一方、日銀はその後の金融政策決定会合で従来の大規模金融緩和を継続。市場では7月のFOMC（連邦公開市場委員会）でも0・75%利上げとの見方が強まっております。円安ドル高が加速しそうです。そこで今回は為替想定が1ドル110円以下で、今期の業績が好調な銘柄を紹介する。

まず、モーター世界大手の日産電産（6594）は、車載用精密小型モーターともに需要回復予想。炭素製品大手で、タイヤ素材や半導体用素材も手が

ける東海カーボン（5301）は、炭素製品の販売価格引き上げで採算が改善しそうです。

また、工作機械や半導体製造装置用の直動案内機器で世界シェア5割超占めるTHK（6481）は、直動案内機器の自動化需要が拡大する。固定抵抗器は世界首位級で、国内生産比率が70%強と高いKOA（6999）は、高機能チップ抵抗器がEV、FA向け電流制御インバーター用に好調だ。最後に、ラニンングシューズに強いスポーツ用品のアシックス（7936）は、1ドル105円想定と保守的な為替予想だ。

スケジュール（6月27日～7月1日）

27日(月)	新規上場：サンウェルズ 新規上場：イーディーピー 決算発表：あさひ、壺番屋、オークワ、しまむら 6月16・17日開催の日銀金融政策決定会合の「主な意見」 アメリカ5月耐久財受注
28日(火)	新規上場：ヌーラボ 新規上場：M&A総合研究所 決算発表：ハローズ、パイプHD、ヒマラヤ、スギHD、NaITO 北大西洋条約機構(NATO)首脳会議(～30日) アメリカ4月S&PコアロジックCS住宅価格指数 アメリカ6月CB消費者信頼感指数
29日(水)	新規上場：マイクロアド 決算発表：ナガイレーベン、アクシージア 5月商業動態統計 6月消費動向調査 株主総会集中日 eスポーツビジネスEXPO(～7月1日)

30日(木)	新規上場：AVIC 決算発表：ダイセキSOL、Jフロント、ケーヨー、平和堂、識学、DCMH、ウェザーニューズ、三陽商会、高島屋、ダイセキ 5月鉱工業生産指数 中国6月コンポジットPMI 中国6月製造業PMI 中国6月非製造業PMI ユーロ圏5月失業率 アメリカ5月個人所得・個人支出
1日(金)	決算発表：アスクル、ニトリHD、象印マホービン、北恵 日銀短観6月調査 5月失業率・有効求人倍率 6月自動車販売台数 路線価公表 中国6月財新製造業PMI アメリカ6月ISM製造業景況指数

(注) 予定は変更されることがあります。
(出所) 大和証券、マネックス証券ほかのマーケット情報



9142 東証プライム

九州旅客鉄道

買いレンジ 2,680~2,800円

売りレンジ 2,990~3,100円

時価=2,763円(6.24引け値)

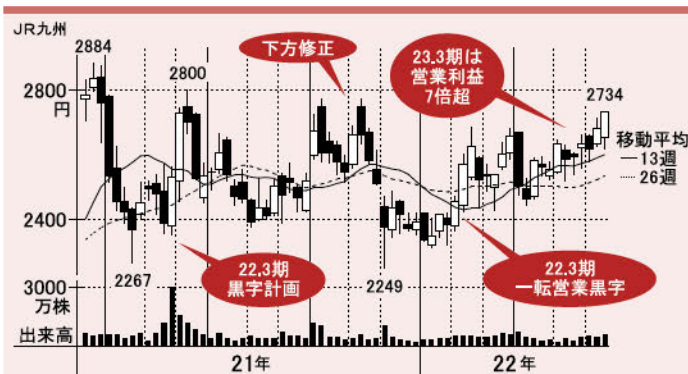
観光需要戻り鉄道復調、ホテルも改善し大幅増益

高
利
回
り

国鉄分割民営化で発足した、九州を基盤とする鉄道会社。九州新幹線や在来線のななつ星などの観光列車が人気。不動産・ホテル・外食等の多角化事業が成長の牽引役。居酒屋やホテルは東京都内にも進出。今年9月に西九州新幹線が運行開始。修正した中計では25年3月期の営業益4400億円を目指す。一方、今23年3月期は不動産が物件売却減り一歩後退。

ただ鉄道はレジャー、観光需要の戻りで新幹線や在来線が復調。ホテルも観光を軸に稼働率が改善し、大幅営業増益の見通しだ。株価は上場後の17年半ばより3200~4000円のボックス圏で推移した後、20年に底割れ。だが今年2月の戻り高値2685円を6月に抜いてきており、3000円台台帰に期待。目標株価は3040円とするが、その先も十分狙える。

PER(株価収益率).....17.7倍
PBR(株価純資産倍率).....1.12倍
配当利回り.....3.37%
営業利益増益率.....635.3%
純利益増益率.....84.9%
自己資本比率.....40.8%
売買単位.....100株
年初来高値.....2,794円(6.23)
年初来安値.....2,311円(1.11)



[信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
5.27	106	1,291	12.1
6.3	114	1,409	12.3
6.10	102	1,147	11.2
6.17	155	878	5.6

業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
22.3	329,527	3,944	9,237	13,250	84.3	93
23.3会予	381,400	29,000	30,000	24,500 (22.05.10発表)		
23.3東予	381,500	29,000	30,000	24,500	155.9	93
24.3東予	400,000	32,000	33,000	26,500	168.7	93

東予は東洋経済予想、会予は会社予想



6777 東証スタンダード

s a n t e c

買いレンジ 1,630~1,710円

売りレンジ 1,830~1,900円

時価=1,688円(6.24引け値)

光測定器に強み、半導体や眼科向けなどで躍進

アメリカ好調

光を使う高速大容量通信関連の光部品、産業・医療用の光測定器など、ニッチながらユニークな光関連製品メーカー。愛知県小牧市拠点。技術志向が強い。通信用光部品は、データセンターや通信基地局向け需要増に伴い、小型で多機能部品の需要増が続く。収益柱の光測定機器も波長を自在に変えることができる波長可変レーザーや、次世代光源を使うスマホの顔認証用センサー測定器など新しい用途開発が進む。とくにスイスのアルコン社と提携する眼科治療用の測定機器がアメリカなどで拡大傾向。今23年3月期は部材不足で光部品が伸び悩むが、光測定器は半導体市場向けや眼科向けなどで大幅増。純利益は01年3月期に次ぐ高水準になる見込みだ。株価は昨年11月高値に面合わせ。目標株価は1860円。2000円台定着を目指す。

PER(株価収益率).....11.7倍
 PBR(株価純資産倍率).....1.67倍
 配当利回り.....2.37%
 営業利益増益率.....27.9%
 純利益増益率.....2.7%
 自己資本比率.....73.3%
 売買単位.....100株
 年初来高値.....1,780円(6.10)
 年初来安値.....1,125円(3.9)



[信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
5.27	0	404	-
6.3	0	404	-
6.10	0	422	-
6.17	0	408	-

業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
22.3	8,890	1,642	1,948	1,656	140.9	40
23.3会予	12,000	2,100	2,200	1,700 (22.05.16発表)		
23.3東予	12,000	2,100	2,200	1,700	144.6	40
24.3東予	13,800	2,500	2,600	2,010	170.9	40~45

東予は東洋経済予想、会予は会社予想



7011 東証プライム

三菱重工業

買いレンジ 4,410~4,600円

売りレンジ 4,920~5,100円

時価=4,551円(6.24引け値)

プラント堅調、原子力好調で連続最高益、押し目買い

連続増配

日本最大の総合重機メーカー。火力発電所設備、原発、航空・宇宙、造船、各種産業機械、プラントなど多様に手がける。戦闘機や護衛艦・潜水艦、ミサイルを製造する防衛関連銘柄でもある。小型航空機は凍結。円安好感。今23年3月期はプラントが堅調。物流・冷熱機械も復調が続く見込み。原子力好調、火力発電が不採算案件消え収益改善。連続最高益更新。増配。株価は15年の戻り高値8050円から下げ調整入り。3800~4900円のボックス圏を20年に割り込んだが、同10月安値2181円と昨年12月安値2511円でW底を形成し底打ちした後は一気の上昇。利益確定売りなどで下落した今は、絶好の押し目買いのチャンス。目標株価は5010円とする。PER12倍台、PBR約1倍で割高感はない。

PER(株価収益率).....12.7倍
 PBR(株価純資産倍率).....0.97倍
 配当利回り.....2.64%
 営業利益増益率.....24.8%
 純利益増益率.....5.7%
 自己資本比率.....30.8%
 売買単位.....100株
 年初来高値.....5,672円(6.9)
 年初来安値.....2,683.5円(1.4)



[信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
5.27	528	1,907	3.6
6.3	598	2,474	4.1
6.10	735	3,206	4.4
6.17	547	3,251	5.9

業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
22.3	3,860,283	160,240	173,684	113,541	338.2	100
23.3会予	3,900,000		190,000	120,000 (22.05.12発表)		
23.3東予	3,900,000	200,000	190,000	120,000	357.5	120
24.3東予	4,000,000	210,000	200,000	127,000	378.3	120~130

東予は東洋経済予想、会予は会社予想



2975 東証プライム

スター・マイカ・ホールディングス

買いレンジ 1,540~1,620円

売りレンジ 1,730~1,790円

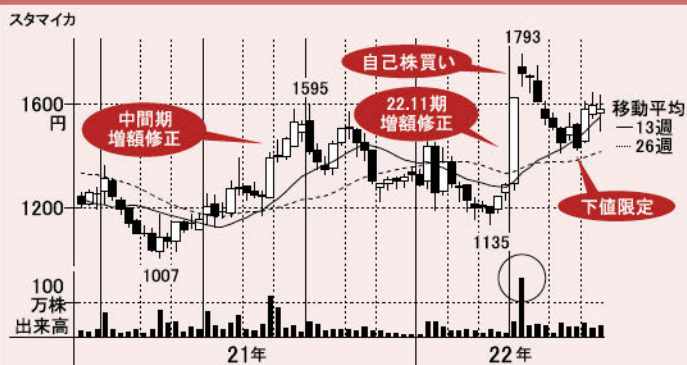
時価=1,597円(6.24引け値)

リノベマンションの販売好調と価格上昇が追い風

増配

中古区分所有マンションへ投資し賃貸、退去後に改装し売却する独自事業を展開。第1四半期決算発表時に22年11月期通期業績予想を、売上高462億7400万円から474億1000万円（前期比28・5%増）へ、営業利益47億8600万円を56億4300万円（同31・7%増）へ上方修正した。リノベーションマンション価格上昇で利益率が想定を上回っている。今期の「リノベマンション」の売却戸数を1400戸（前期比27・2%増）と見込む。下期は資材価格上昇懸念が残るものの、販売戸数増と価格上昇で補って大幅増益を確保する。6月30日に第2四半期累計決算発表予定。株価は5月10日の1410円で底打ちして以降、全体相場の急反落にもかかわらず下値を切り上げ中。目標株価は1760円とする。

PER(株価収益率).....7.9倍
 PBR(株価純資産倍率).....1.33倍
 配当利回り.....2.38%
 営業利益増益率.....30.7%
 純利益増益率.....41.5%
 自己資本比率.....26.1%
 売買単位.....100株
 年初来高値.....1,793円(4.4)
 年初来安値.....1,135円(3.8)



[信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
5.27	92	178	1.9
6.3	18	200	11.2
6.10	15	181	11.7
6.17	13	167	12.2

業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
21.11	36,897	4,286	3,688	2,402	130.0	33
22.11会予	47,410	5,643	4,916	3,385 (22.03.31発表)		
22.11東予	47,400	5,600	4,900	3,400	203.2	38
23.11東予	53,000	5,800	5,100	3,600	215.2	38~40

東予は東洋経済予想、会予は会社予想



4933 東証グロース

I - n e

買いレンジ 3,350~3,500円

売りレンジ 3,740~3,880円

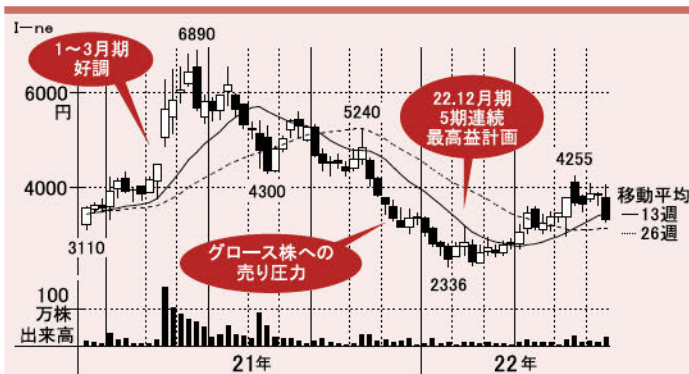
時価=3,460円(6.24引け値)

ヘアケア新ブランドが好調、好業績確認で出直り本格化も

高進捗

植物由来成分を売りにしたヘア・ボディケアのブランド「ボタニスト」と、ヘアアイロンの美容家電「サロンア」が2本柱。生産を外部委託するファブレスメーカーで、デジタルマーケティングに強み。自社サイトや外部モールなどEC販売や、ドラッグストアなど実店舗向け卸販売を展開。今22年12月期は、昨年9月に発売した睡眠中の乾燥・摩擦ダメージに対応するヘアケアブランド「YOLU」が貢献し出足好調。ヘアアイロンの新色発売効果もあり、5月に発表した第1四半期決算は営業益が前期比27%増の12億円と会社の中間期計画8・5億円を超過。今後の上方修正に期待がかかる。株価は昨年6月高値からの調整が2月に一巡し出直り基調。成長性を勘案すれば指標面の過熱感も少ない。目標株価は3810円とする。

PER(株価収益率).....17.3倍
 PBR(株価純資産倍率).....3.3倍
 配当利回り.....—
 営業利益増益率.....23.8%
 純利益増益率.....40.7%
 自己資本比率.....65.0%
 売買単位.....100株
 年初来高値.....4,255円(5.16)
 年初来安値.....2,336円(1.27)



[信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
5.27	0	73	—
6. 3	0	74	—
6.10	0	65	—
6.17	0	66	—

業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
21.12	28,397	2,335	2,330	1,244	143.0	0
22.12会予	31,300	2,700	2,650	1,600 (22.02.10発表)		
22.12東予	33,500	2,890	2,890	1,750	200.2	0
23.12東予	38,000	3,400	3,350	2,020	231.1	0

東予は東洋経済予想、会予は会社予想



8848 東証プライム

レオパレス21

買いレンジ 240~260円

売りレンジ 270~330円

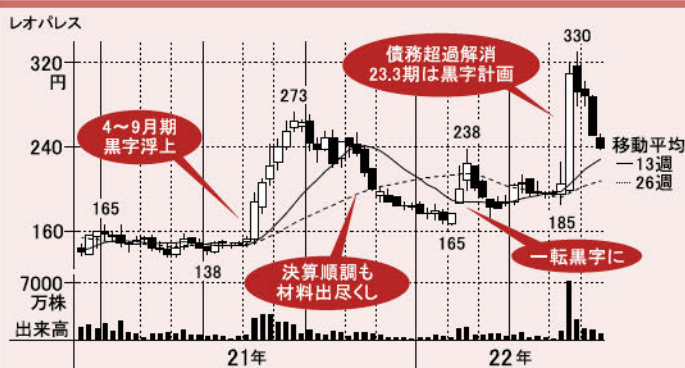
時価=249円(6.24引け値)

1年前倒しで債務超過解消、法人客回復で入居率改善

反転
攻勢

4年前に発覚した施工不良問題で信用失墜、アパート賃貸の入居率が70%台に低下し、前々期まで3期連続の大幅最終赤字。それが前期は損失引当金の戻入益が発生して最終黒字浮上。3月末時点で当初予定より1年前倒しで債務超過を解消した。このサプライズで株価は200円割れ水準からコロナ前の下値水準へと底上げた。今23年3月期は工場、倉庫、工事現場で働く作業員などを擁する法人客の需要増を支えに、入居率85%超を見込む。5月は83・88%だった。6月データは7月6日午後3時に発表するので、材料視されそう。目標株価は280円に設定する。今期の営業益計画117億円は問題発覚前の約半分。外国人労働者の受け入れ拡大を追い風に入居率が高止まりすれば、連れて4年前の下値メド600円が視野に入る。

PER(株価収益率).....3.3倍
PBR(株価純資産倍率).....83.0倍
配当利回り.....—
営業利益増益率.....559.5%
純利益増益率.....110.1%
自己資本比率.....0.7%
売買単位.....100株
年初来高値.....330円(5.23)
年初来安値.....165円(1.31)



[信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
5.27	273	2,338	8.5
6.3	255	2,334	9.1
6.10	155	2,003	12.9
6.17	138	1,913	13.8

業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
22.3	398,366	1,774	▲2,151	11,854	36.0	0
23.3会予	410,800	11,700	6,800	24,900 (22.05.16発表)		
23.3東予	411,000	11,700	6,800	24,900	75.7	0
24.3東予	420,000	17,500	12,900	13,400	40.7	0

東予は東洋経済予想、会予は会社予想

株式市況基本指標

年月日	日経平均株価225種		総合 (TOPIX)	騰落銘柄数		売買高	売買代金	東 マ ゼ ー ズ 指 数	NYダウ 工業株30種	ナスダック 総合指数
	前日比			値上がり	値下がり					
円	円	ポイント				万株	百万円	ポイント	ドル	ポイント
年初来最高 (月日)	29,332.16 1月5日		2,039.27 1月5日			180,772 3月18日	4,076,808 3月8日	976.74 1月4日	36,799.65 1月4日	15,622.72 1月4日
年初来最低 (月日)	24,717.53 3月9日		1,758.89 3月9日			93,859 2月21日	2,306,805 2月21日	615.35 6月20日	29,888.78 6月17日	10,646.10 6月16日
2022.5.27金	26,781.68	176.84	1,887.30	1,228	548	116,839	2,967,124	645.11	33,212.96	12,131.13
30月	27,369.43	587.75	1,922.44	1,551	253	168,174	4,301,852	677.26	-	-
31火	27,279.80	▲89.63	1,912.67	589	1,184	228,880	5,508,842	671.25	32,990.12	12,081.39
6.1水	27,457.89	178.09	1,938.64	1,546	258	122,885	2,897,187	675.33	32,813.23	11,994.46
2木	27,413.88	▲44.01	1,926.39	579	1,192	109,537	2,546,373	660.54	33,248.28	12,316.90
3金	27,761.57	347.69	1,933.14	995	774	110,828	2,679,338	670.37	32,899.70	12,012.73
6月	27,915.89	154.32	1,939.11	1,029	713	100,182	2,322,371	676.14	32,915.78	12,061.37
7火	27,943.95	28.06	1,947.03	1,031	728	117,458	2,676,217	661.42	33,180.14	12,175.23
8水	28,234.29	290.34	1,969.98	1,413	356	130,038	3,010,189	679.22	32,910.90	12,086.27
9木	28,246.53	12.24	1,969.05	786	966	128,727	3,213,988	699.12	32,272.29	11,754.23
10金	27,824.29	▲422.24	1,943.09	174	1,634	127,253	3,144,959	687.15	31,392.79	11,340.02
13月	26,987.44	▲836.85	1,901.06	332	1,457	121,859	2,895,475	653.98	30,516.74	10,809.23
14火	26,629.86	▲357.58	1,878.45	382	1,403	126,090	3,033,313	654.76	30,364.83	10,828.34
15水	26,326.16	▲303.70	1,855.93	257	1,545	122,653	2,762,331	644.84	30,668.53	11,099.15
16木	26,431.20	105.04	1,867.81	1,216	561	113,069	2,641,632	636.32	29,927.07	10,646.10
17金	25,963.00	▲468.20	1,835.90	351	1,447	186,965	4,272,132	621.10	29,888.78	10,798.35
20月	25,771.22	▲191.78	1,818.94	363	1,432	117,784	2,716,316	615.35	-	-
21火	26,246.31	475.09	1,856.20	1,719	92	111,340	2,619,081	640.35	30,530.25	11,069.30
22水	26,149.55	▲96.76	1,852.65	670	1,099	111,133	2,577,392	629.82	30,483.13	11,053.08
23木	26,171.25	21.70	1,851.74	1,100	668	108,229	2,652,825	635.55	30,677.36	11,232.19

※売買高、売買代金の数値は概算です。※年初来最高、年初来最低は終値ベース。※騰落銘柄数、売買高、売買代金は4/4以降、プライム市場分を記載。

◆投資部門別 株式売買状況 東証第一部(4月より東証プライム)(金額)

	個人	海外投資家	法人			金融機関内訳			委託計	自己計	総計
			投資信託	事業法人	金融機関	生・損保	都銀・地銀等	信託銀行			
2021年7月	4,926	▲2,474	1,596	1,636	257	▲428	▲14	417	7,107	▲7,650	▲542
2021年8月	▲1,907	▲1,393	▲1,461	3,231	158	▲797	▲267	976	▲915	946	31
2021年9月	▲5,891	▲1,401	▲4,322	1,211	▲14,561	▲595	▲1,180	▲12,165	▲25,414	25,486	72
2021年10月	1,159	6,937	896	1,616	▲3,953	▲513	▲551	▲2,986	7,186	▲8,213	▲1,026
2021年11月	1,453	▲2,877	▲166	3,361	3,006	▲187	▲1,015	4,218	4,766	▲5,266	▲500
2021年12月	▲4,190	▲7,032	4,405	4,206	9,074	127	▲640	9,438	7,385	▲6,893	492
2022年1月	6,738	▲2,794	▲120	2,226	▲3,727	▲51	▲1,155	▲2,537	2,774	▲2,557	216
2022年2月	▲517	▲4,499	▲534	2,971	5,027	▲340	▲787	5,996	2,590	▲2,282	307
2022年3月	▲1,319	▲12,628	▲2,521	2,075	▲4,310	▲446	▲909	▲3,159	▲18,565	19,813	1,247
2022年4月	3,221	12,352	▲1,714	2,417	▲8,618	▲754	▲511	▲7,127	8,399	▲6,960	1,439
2022年5月	▲715	▲2,597	362	5,248	542	▲1,292	▲248	2,188	2,893	▲2,585	308
2022年6月	6,720	▲7,738	47	2,677	92	▲289	▲281	631	2,226	▲2,223	▲6

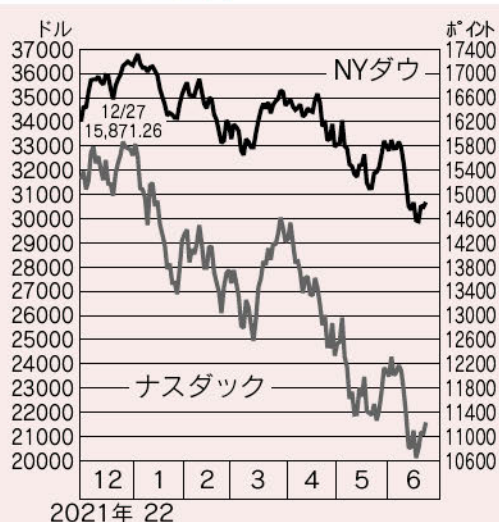
(注) 6月は第3週(6/13~17)のみ、立会外取引を含む、その他法人・金融機関は記載なし。単位は千万単位を切り捨て、億円表記。▲は買い越しでなく売り越し。(出所) 東証

東洋経済 株式ウィークリー

東京市場



ニューヨーク市場



持
続

3月28日号で注目

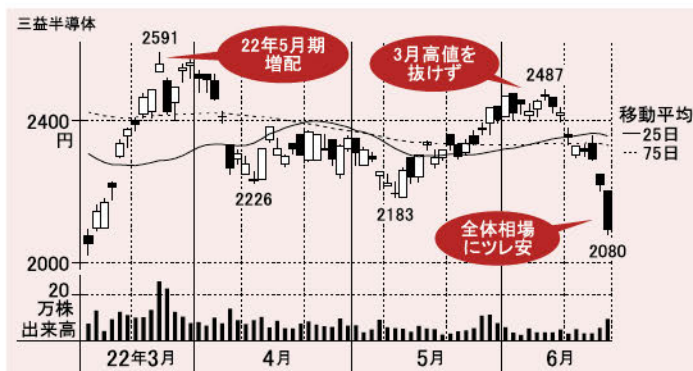
三益半導体工業

8155 東証プライム

半導体研磨好調、株価は底打ちから上昇へ

信越化学工業からウエハ研磨加工を受託。ウエハ再生、理化学機器卸売り、半導体関連装置の販売も手がける。23年5月期は柱の半導体が成長持続。新品の研磨加工はロジック向け中心に好調持続の見通し。再生ウエハもNAN

D向け中心に拡大予想。株価は、6月中旬以降の全体相場の急反落に連動して調整を強いられているが2000円水準は下値抵抗力が強いとみられ、戻り待ちの売りをこなしつつ、反転上昇に向かいそうだ。持続方針とする。



注目時株価

2,561円

現在株価（6月22日）

2,087円

注目時からの変化率

▲18.5%

最高上昇率（売り推奨は最高下落率）

0.5%

過去の注目株①

注目後高値と注目後安値は、注目時（各号の発売前週末の終値）から直近の木曜日取引終了までのザラ場の値を示す。「持続」のまま目標株価に達した場合のみ太字で「成功」と示し、次号からの目標株価を「達成」とする。

コード・銘柄	注目時 株 価	注目後 安 値	目 標 株 価	注目後 高 値	6/23 時 価	ポ イ ン ト・処 置
3月28日号						
4687 TDC ソ フ ト	1,223	982	1,350	1,233	1,030	持続、金融機関のDX投資拡大追い風、計画保守的
8732 マネーパートナーズグループ	289	222	320	303	251	持続、FX相場変動の恩恵で当期増益へ、好材料待ち
8155 三益半導体工業	2,561	2,070	2,820	2,575	2,077	持続、信越化学工業と連動、信越が安値だが辛抱
7480 スズデン	2,308	1,843	2,540	2,345	1,862	持続、FA関連好調、今期以降は配当性向80%
6787 メイコー	3,985	3,065	達成!	4,715	3,070	配線基板が車載・スマホ向けとも好調持続
2914 売切 J T	2,091	2,072	1,880	2,437.5	2,429.5	ルーブル相場しぶとい、ロシア経営リスク限定化検討中
4月4日号						
6326 クボタ	2,308.5	1,996	達成!	2,579	2,033.5	世界的な食糧不足不安が台頭、今期も最高益
8002 丸紅	1,422	1,212.5	1,570	1,480.5	1,221	持続、資源高は当面定着か、200日線まで調整も
6368 オルガノ	10,050	8,130	11,100	10,640	8,200	持続、新高値、大型案件の受注多く連続最高益
9119 飯野海運	808	638	890	822	685	持続、23年3月期はLNG船復調など寄与、予想保守的
3906 ALBERT	5,710	4,080	6,300	6,250	4,165	持続、AI実装支援が好伸長、200日線割れる
3482 ロードスターキャピタル	1,770	1,322	1,950	1,897	1,806	持続、クラウドファンディング事業も、達成近づく
4月11日号						
6363 西島製作所	1,036	1,049	達成!	1,433	1,229	新高値、風力発電運営に注力、利益確定売り
3099 三越伊勢丹ホールディングス	938	933	達成!	1,156	1,084	新高値後小休止、客数回復、23年3月期大幅増益
5726 大阪チタニウムテクノロジーズ	1,351	1,140	達成!	2,942	2,130	小休止、注目時から2倍超、23年3月期黒字も
4433 ヒト・コミュニケーションズHD	1,781	1,400	1,960	1,812	1,485	持続、22年8月期も上方修正、切り返し後一服
7485 岡谷鋼機	9,510	9,080	10,470	9,640	9,210	持続、鉄鋼と機械主体の大手専門商社、底打ちへ
4174 アピリッツ	1,227	873	1,350	1,331	935	持続、買取会社寄与、システム受託も伸び1Q順調
4月18日号						
7826 フルヤ金属	9,700	7,570	10,700	9,840	8,440	持続、貴金属需要が好調、23年6月期も連続最高益へ
9432 日本電信電話	3,751	3,700	4,130	4,055	3,986	持続、非通信分野が拡大、データ採算改善し連続増益
6501 日立製作所	5,957	5,786	達成!	7,015	6,435	グリーンとデジタルに軸足、成長の10年に
3681 ブイキューブ	999	839	達成!	1,107	980	イベント配信が業績拡大を牽引、再度1000円台へ
7133 HYUGA PRIMARY CARE	7,630	4,820	8,400	7,830	5,980	持続、薬局加盟店事業が伸長、高成長続く
1762 敵松コンストラクショングループ	2,195	1,990	2,420	2,215	2,027	持続、高速道路補強など堅調、23年3月期も増益
4月25日・5月2日合併号						
2802 味の素	3,393	2,879	3,740	3,431	3,074	持続、調味料国内最大手、海外牽引、23年3月期増益
7732 トプコン	1,737	1,572	達成!	2,021	1,706	円安加速で輸出採算改善効果大、ESG関連銘柄
5704 JMC	892	781	990	988	812	持続、案件増え数量拡大、営業増益、本格反転期待
7751 キヤノン	3,029	2,825	達成!	3,390	3,215	半導体関連の需要旺盛、業績回復で安心感
8168 ケーヨー	897	888	990	986	916	持続、DCMHDとの連携進展、今期は26%の営業増益
5021 コスモエネルギーHD	3,240	3,015	達成!	4,180	3,695	新高値後一服、投資会社の株式取得判明、高値圏
5月9日号						
2305 スタジオアリス	2,283	2,174	2,520	2,318	2,289	持続、成人式振袖と写真がセットの「ふりホ」好調
3355 クリヤマホールディングス	1,036	889	1,140	1,036	878	持続、排ガス規制で尿素センサー絶好調、割安
6323 ローゼ	10,580	8,200	11,640	11,210	8,470	持続、半導体ウエハ搬送装置が好調、最高益更新
4528 小野薬品工業	3,441	3,152	3,790	3,586	3,220	持続、主柱のがん治療薬が伸びる、ボックス圏
1967 ヤマト	742	717	820	772	763	持続、空調・衛生工事が堅調で保守的予想、下限限定
6594 日本電産	8,227	7,830	9,100	9,016	7,882	持続、CEO永守氏のプレミアムに期待、下限限定

■電話による投資相談は一切実施しておりません。ご了承ください。

過去の注目株②

「持続」は目標株価にはまだ届いていないものの、継続保有を推奨する場合。
「見切り」は、手仕舞いを含めた柔軟な対処を求める。相場見直しを変更した場合は、「ポイント・処置」の文末に「（※～円）」で目標値を修正。（株価単位＝円）

コード・銘柄	注目時 株 価	注目後 安 値	目 標 株 価	注目後 高 値	6/23 時 価	ポ イ ン ト ・ 処 置
5月16日号						
6701 N E C	5,220	4,990	5,750	5,410	5,170	持続、次世代インフラ関連が牽引、宇宙や防衛も担う
2670 エービーシー・マート	5,410	5,210	達成!	6,070	5,770	外出増で月次堅調、インバウンド復活を先取り
9001 東 武 鉄 道	3,020	2,960	3,330	3,105	3,060	持続、新高値、鉄道復調し営業増益、中計にも注目
8233 高 島 屋	1,238	1,216	達成!	1,379	1,325	新高値後一服、コロナ一巡で百貨店、SC順調
6999 K O A	1,607	1,559	達成!	1,829	1,572	新高値、世界のEV化で固定抵抗器が順調
3132 マクニカ・富士エレHD	2,775	2,564	3,060	3,050	2,574	持続、電子デバイスの需要好調、今期も営業最高益
5月23日号						
5334 日 本 特 殊 陶 業	2,419	2,386	達成!	2,677	2,453	自動車関連拡大で最高益、高利回り、小休止
6770 アルプスアルパイン	1,400	1,369	達成!	1,540	1,446	電子部品が順調、今23年3月期も大幅増益
6971 京 セ ラ	7,077	7,021	7,790	7,618	7,216	持続、新高値、利益水準はITバブル期並みまで回復
4955 アグロ カネショウ	1,217	1,202	達成!	1,380	1,234	円安メリット享受で業績底入れ、いったん利益確定
7272 ヤマハ発動機	2,522	2,469	達成!	2,807	2,590	2輪車が好調、株価指標面でも割安、利益確定売り
4816 東映アニメーション	13,270	10,650	14,600	14,280	10,650	持続、東映系のアニメ老舗、人気映画が続々公開
5月30日号						
3231 野村不動産ホールディングス	3,275	3,145	3,610	3,395	3,270	持続、マンション高水準、小休止だがジリ高へ
9024 西武ホールディングス	1,385	1,346	1,530	1,447	1,424	持続、旅行需要回復、ホテルやレジャーも改善
4680 ラウンドワン	1,552	1,476	達成!	1,714	1,561	娯楽施設の集客回復、保ち合いを上抜けへ
6103 オークマ	5,280	5,080	達成!	5,820	5,190	今3月期は大幅営業増益、二番底確認、トレンド不変
6914 オプテックスグループ	1,939	1,854	達成!	2,150	1,958	半導体検査用LED照明など好調、4期ぶり最高益
1925 大和ハウス工業	3,179	2,997	3,500	3,217	3,087	持続、海外投資家の持ち高調整は好機、中計手がかかり
6月6日号						
2780 コメ兵ホールディングス	2,338	2,320	達成!	2,874	2,724	新高値、ブランド品買い取り好調、インバウンド先取り
8214 AOKIホールディングス	704	647	780	719	690	持続、コロナ自粛緩和で環境好転、攻めのM&Aも
7718 スター精密	1,702	1,612	1,880	1,820	1,643	持続、工機好調で業績上振れ期待、自己株買い支え
4396 システムサポート	1,248	1,091	1,380	1,256	1,188	持続、新年度もコンサルなど続伸で最高益
6826 本多通信工業	531	499	590	579	508	持続、コネクター回復で営業益続伸、増配で高利回り
6506 安川電機	4,575	4,160	5,040	4,860	4,350	持続、今2月期は36%の営業増益計画、割安に
6月13日号						
9045 京阪ホールディングス	3,340	3,175	3,680	3,350	3,215	持続、行楽シーズン前の拾い場、4000円射程
7733 オリnpas	2,800	2,640	3,100	2,788.5	2,680	持続、柱の医療機器が好調持続、上場来高値
6963 ローム	10,470	9,270	11,520	10,230	9,340	持続、高シェア部品が牽引、EV向けパワー半導体成長
5991 ニッパツ	966	858	1,070	964	932	持続、今期大幅営業増益計画、株価は上昇基調
8136 サンリオ	2,600	2,465	2,860	2,617	2,571	持続、恐るべきキャラクター力、過小評価のうちに
3030 ハブ	615	543	680	615	568	持続、既存店回復し下期営業黒字化、株価修復へ
6月20日号						
2395 新日本科学	2,037	1,878	2,250	2,138	1,981	持続、前臨床検査で国内首位、買収で収益拡大も
4996 クミアイ化学工業	1,093	997	1,210	1,102	999	持続、大型の畑作用除草剤が想定超、再増額期待
9009 京成電鉄	3,540	3,450	3,900	3,685	3,645	持続、鉄道が観光客回帰で浮上、ディズニー関連
1963 日揮ホールディングス	1,824	1,692	2,010	1,815	1,738	持続、海外LNGが追い風、2000円台定着を待つ
7276 小糸製作所	4,285	4,165	4,720	4,380	4,285	持続、世界的な自動車生産回復と円安が追い風に
7282 豊田合成	2,076	2,052	2,290	2,169	2,142	持続、次世代パワー半導体関連で大化け期待

■社名の前に「売」が付いている銘柄はカラ売り対象。ポイント・処置等は、将来の成果を約束するものではありません。

編集長 総括

東京市場はアメリカの金融引き締め
の影響を受けるが日本企業の業績予
想は保守的。活躍期待銘柄を厳選。



四半期ごとにお届けする編集長総括。①「過去3カ月の相場の振り返り」、②「過去の当欄注目株のフォローアップ」、さらに③「今後長期の観点から注目できる4銘柄」の3つを紹介したいと思います。

この3カ月は、2月のウクライナ危機後の株価修復を期した期間でしたが、アメリカの金融引き締めが市場の予想を上回ったことで株価の反発は限定的でした。ただ円安もあり、7月以降の企業業績の増額修正に期待したいところです。

当欄の「長期投資銘柄」のパフォーマンス(過去1年)を振り返ると、全16銘柄のうち、目標である「2割以上の上昇」でターゲット株価を達成したのは8銘柄。これは前3カ月の達成率と同様でした。最高上昇率は名村造船所(7014)の55・1%でした。

さて今回、今年前半の最後にご紹介する4銘柄は以下のとおりです。やはり、『会

社四季報」の業績予想を加味し、いずれも「業績の変化」に着目して選んでいます。

石油資源開発(1662)は原油・天然ガスの開採生産会社で、国が株式の34%を保有する筆頭株主です。今期は原油価格の想定が1バレル70ドル、為替は1ドル110円ですから、会社の業績予想はかなり保守的と言えます。

NTN(6472)は自動車向け部品として欠かせない軸受け(ベアリング)企業の一角。前22年3月期は2期ぶりに営業黒字に転じましたが、本来の実力を発揮するのはこれからです。今23年3月期は建機や農機、工作機械など産業機械向けの軸受けも好調です。今期3期ぶりに配当、となればグンと上昇しそうです。

山口フィナンシャルグループ(8418)は傘下に山口銀行やみづ銀行などを持つ西日本が地盤の金融機関です。前期は経常赤字でしたが、今期は預かり資産関連やコ

過去の「長期投資銘柄」のその後

掲載号・コード・銘柄	注目時 株価(円)	ターゲット 株価(円)	注目後 高値(円)	上昇率 (%)	6/20 時値(円)
6月28日号					
3132 マクニカ・社エールホールディングス	2,594	3,150	3,050	17.6	2,597
6501 日立製作所	6,188	7,450	7,460	20.6	6,407
7685 BuySell Technologies	4,365	5,250	5,170	18.4	3,710
8233 高島屋	1,338	1,600	1,379	3.1	1,282
9月27日号					
2181 パーソルホールディングス	2,726	3,300	3,685	35.2	2,237
6367 ダイキン工業	26,680	32,000	27,060	1.4	20,035
6533 Orchestra Holdings	3,870	4,700	5,310	37.2	2,272
8306 ミッドランドフィナンシャルグループ	632.5	760	828.3	31.0	730.8
12月号1月号					
1820 西松建設	3,590	4,350	4,445	23.8	4,025
2307 クロスキャット	923.5	1,125	1,239	34.2	937
6855 日本電子材料	2,555	3,050	3,175	24.3	1,724
6902 デンソー	9,053	11,000	10,185	12.5	7,200
3月号					
4375 セーフィー	1,320	1,500	1,563	18.4	507
7014 名村造船所	312	370	484	55.1	391
3397 トリドールホールディングス	2,354	2,900	2,627	11.6	2,177
7202 いすゞ自動車	1,600	2,000	1,686	5.4	1,526

ンサル手数料が拡大、経常黒字に復帰しそうです。予想配当利回りも4%台で、株価は長期ではジリ高となっています。

東京電力HD(9501)は電力首位の企業で、2011年の原発事故で賠償や廃炉費用が続いていますが、燃料高の料金転嫁が進展。政府が原発再稼働の方針を打ち出しており、今年が大きな転機になる可能性にあります。

長期投資 4 銘柄

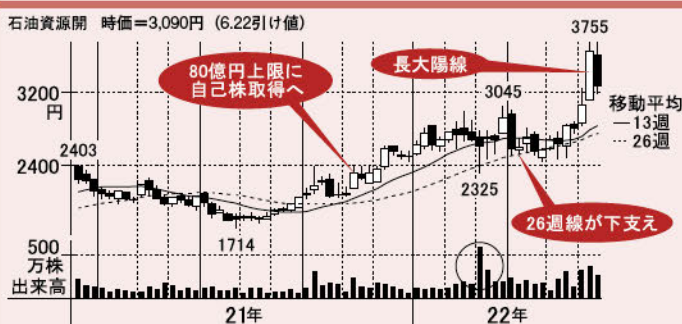
1662 東証プライム

石油資源開発

原油・天然ガスの開発生産会社。油価1バレル70ドル・為替1ドル110円想定で大幅増額期待大。米国タイトオイル開発事業に3年で約5億ドル投資方針。

ターゲット価格
3,710円

PER(株価収益率).....4.9倍
PBR(株価純資産倍率).....0.46倍
配当利回り.....4.53%
営業利益増益率.....51.4%
純利益増益率.....黒字化
自己資本比率.....78.7%
売買単位.....100株
年初来高値.....3,755円(6.9)
年初来安値.....2,325円(3.2)



[信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
5.20	176	192	1.1
5.27	176	135	0.8
6.3	167	190	1.1
6.10	223	216	1.0

業績	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
22.3	249,140	19,809	43,674	▲30,988	▲545.6	50
23.3会予	244,344	20,916	28,758	25,590(22.05.13発表)		
23.3東予	340,000	30,000	38,000	34,000	628.7	140
24.3東予	260,000	22,000	25,000	20,000	369.8	110~115

東予は東洋経済予想、会予は会社予想

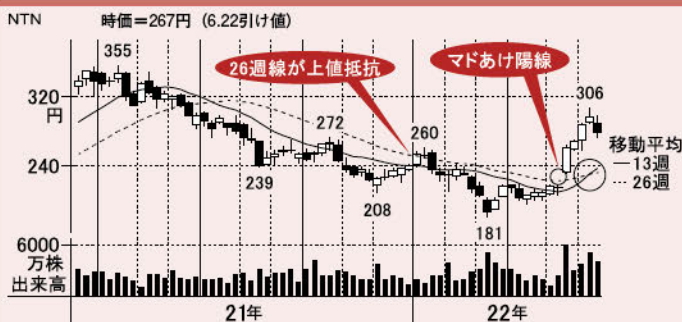
6472 東証プライム

N T N

ベアリング大手3社の一角。等速ジョイントは世界シェア2位、ハブベアリングは世界トップ。今23年3月期は産機向け軸受け好調で利益回復、復配。

ターゲット価格
320円

PER(株価収益率).....14.2倍
PBR(株価純資産倍率).....0.72倍
配当利回り.....1.87%
営業利益増益率.....234.3%
純利益増益率.....36.2%
自己資本比率.....23.1%
売買単位.....100株
年初来高値.....306円(6.8)
年初来安値.....181円(3.9)



[信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
5.20	2,764	4,672	1.7
5.27	2,865	4,418	1.5
6.3	3,287	4,397	1.3
6.10	3,296	5,563	1.7

業績	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
22.3	642,023	6,880	6,815	7,341	13.8	0
23.3会予	720,000	23,000	20,000	10,000(22.05.13発表)		
23.3東予	720,000	23,000	20,000	10,000	18.8	5
24.3東予	730,000	42,000	39,000	25,000	47.1	5~10

東予は東洋経済予想、会予は会社予想

東洋経済 株式ウィークリー

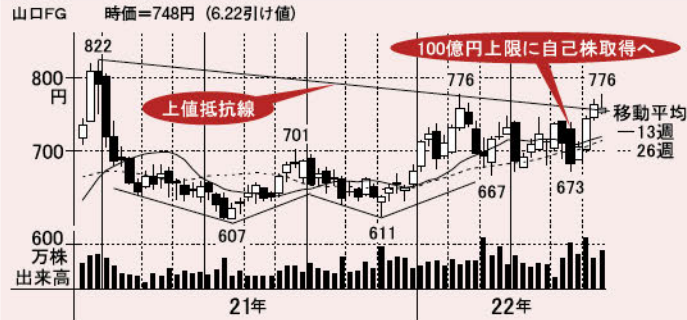
8418 東証プライム

山口フィナンシャルグループ

傘下に山口銀、もみじ銀、北九州銀。証券やリースにも展開。今期は外債や投信の損失処理和らぐ。与信費用も一服し、経常黒字に復帰。4割配当メド。

ターゲット価格
900円

PER(株価収益率).....10.4倍
PBR(株価純資産倍率).....0.28倍
配当利回り.....4.14%
営業利益増益率.....131.9%
純利益増益率.....黒字化
自己資本比率.....5.2%
売買単位.....100株
年初来高値.....776円(2.9)
年初来安値.....667円(3.8)



[信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
5.20	70	3,501	49.5
5.27	76	2,692	35.2
6.3	96	2,497	25.8
6.10	102	1,934	18.9

業績

	売上高 (百万円)	営業純益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
22.3	147,016	7,030	▲7,635	▲13,005	▲53.3	28
23.3会予	-	-	25,000	17,000	(22.05.13発表)	
23.3東予	163,000	16,300	25,000	17,000	71.8	31
24.3東予	180,000	19,000	31,000	22,000	92.9	31~37

東予は東洋経済予想、会予は会社予想

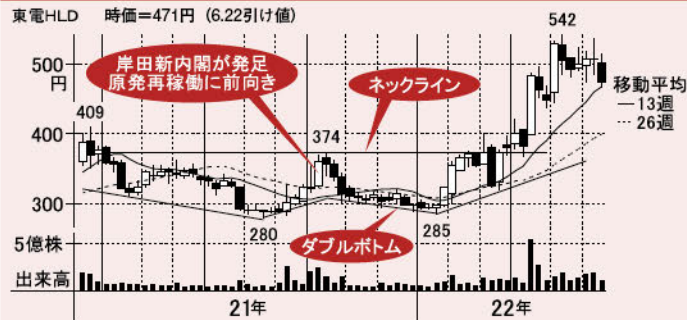
9501 東証プライム

東京電力ホールディングス

電力首位。原発事故で政府の一時公的管理下。持株会社下で発送電分離。岸田政権の原発再稼働後押し好感。今期は燃料高の料金転嫁で利益復調。

ターゲット価格
570円

PER(株価収益率).....7.5倍
PBR(株価純資産倍率).....0.34倍
配当利回り.....—
営業利益増益率.....94.7%
純利益増益率.....1,673.0%
自己資本比率.....24.9%
売買単位.....100株
年初来高値.....542円(5.9)
年初来安値.....285円(1.19)



[信用取組] (千株)

申込期日	売り	買い	倍率
5.20	15,033	35,327	2.3
5.27	13,028	38,495	3.0
6.3	15,343	34,617	2.3
6.10	15,729	34,581	2.2

業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	利益 (百万円)	1株益 (円)	1株配 (円)
22.3	5,309,924	46,230	44,969	5,640	3.5	0
23.3会予	-	-	-	-		
23.3東予	6,300,000	90,000	120,000	100,000	62.4	0
24.3東予	6,800,000	130,000	170,000	130,000	81.1	0

東予は東洋経済予想、会予は会社予想

株式ウィークリー

発行人/駒橋憲一 編集長/福井 純

©TOYO KEIZAI INC. 2022

発行所/東洋経済新報社

103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1

関西支社/541-0041 大阪市中央区北浜2-6-18 (淀屋橋スクエア14階)

印刷所/東港出版印刷株式会社

予約購読のお申し込み

フリー ☎ 0120-206-308

コールセンター ☎ 03-6386-1040

(受付時間 9:30~17:30 土日祝・休)

本誌は株式投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、銘柄選択や投資の最終決定は、ご自身の判断・責任でなされるようお願いいたします。

本誌に掲載している記事、写真、図表、データ等は、著作権法や不正競争防止法をはじめとする各種法律で保護されています。当社の許諾を得ることなく、本誌の全部または一部を、複製、翻案、公衆送信等の利用はできません。もしこれらに違反した場合、たとえそれが軽微な利用であったとしても、当社の利益を不当に害する行為として損害賠償その他の法的措置を講ずることがありますのでご注意ください。本誌の利用をご希望の場合は、事前に当社(TEL: 03-6386-1040もしくは当社ホームページの「転載申請入力フォーム」)までお問い合わせください。